



2018年3月期 決算説明会

2018年5月8日

JASDAQ: 6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

◆金型◆

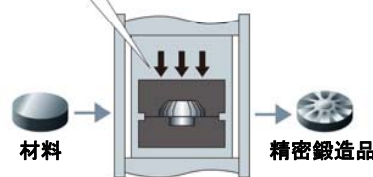
・金型生産、開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供。

◆精密鍛造品◆

・金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供。

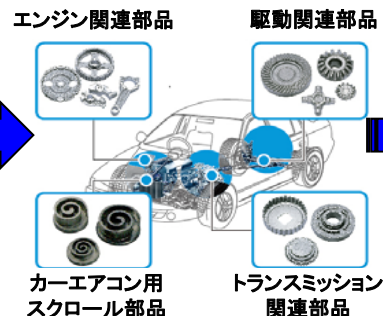
ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造

切削・加熱することなく一発で複雑な形状に加工



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

【金型】

・国内の全自動車メーカー系列企業。
・海外の自動車部品メーカーとの取引も増加。

【精密鍛造品】

・自動車部品メーカー
(主製品はスクロール鍛造品)

アッセンブリ事業

・ディーゼルエンジン及びガソリンエンジンのターボチャージャー部品の組立。

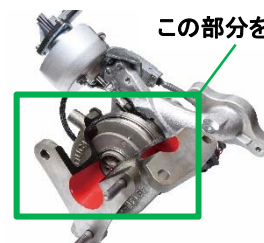
・国内およびタイ工場で組立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応。



VGターボチャージャー部品

納入先メーカーでターボチャージャーの一部に組み込まれる

この部分を組み立て



VGターボチャージャー

自動車産業

全世界の自動車メーカー

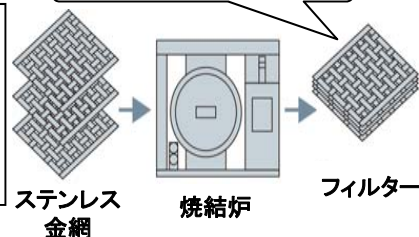
フィルタ事業

・複数のステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産。

・フィルターの洗浄・再生サービス。

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造

微細で均一なる孔を実現



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



各種メーカー

石油、ガス、化学、繊維、食品、航空宇宙産業 など

ネットシェイプ事業

単独

ニチダイ (ND)

宇治田原工場



スクロール鍛造品



精密鍛造金型

- 精密鍛造金型の生産拠点。
- 約30名の開発人員を持つ。
- 鍛造プレスを保有。鍛造品の生産も行う。

アッセンブリ事業

京田辺工場



VGターボ
チャージャー部品



ガソリンエンジン車用
ターボチャージャー部品

- 国内におけるターボチャージャー部品の生産拠点。
- 平成27年に宇治田原工場より京田辺工場に移転。

フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)

宇治田原工場



積層焼結金網
フィルター

- 国内の開発・生産拠点。
- 焼結炉を5基保有。

海外拠点

ニチダイ アジア (NDA)

◆タイに立地する
金型販売拠点。

ニチダイ USA (NUC)

◆米国オハイオ州に
ある金型販売拠点。

ニチダイタイランド (NDT)

◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方におけるアジアの戦略拠点。

ネットシェイプ事業

- ・エアコン用スクロールコンプレッサー部品の生産。
- ・精密鍛造金型の生産

アッセンブリ事業

- ・ターボチャージャー部品の製造販売
(海外ユーザー向け)

タイ・シタート・メッシュ (TSM)



◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルターの生産拠点。石油掘削用フィルターが主製品。焼結炉を5基保有。

I .18/3期実績

I .18/3期実績 — P/L: 売上・利益の状況 —

単位: 百万円

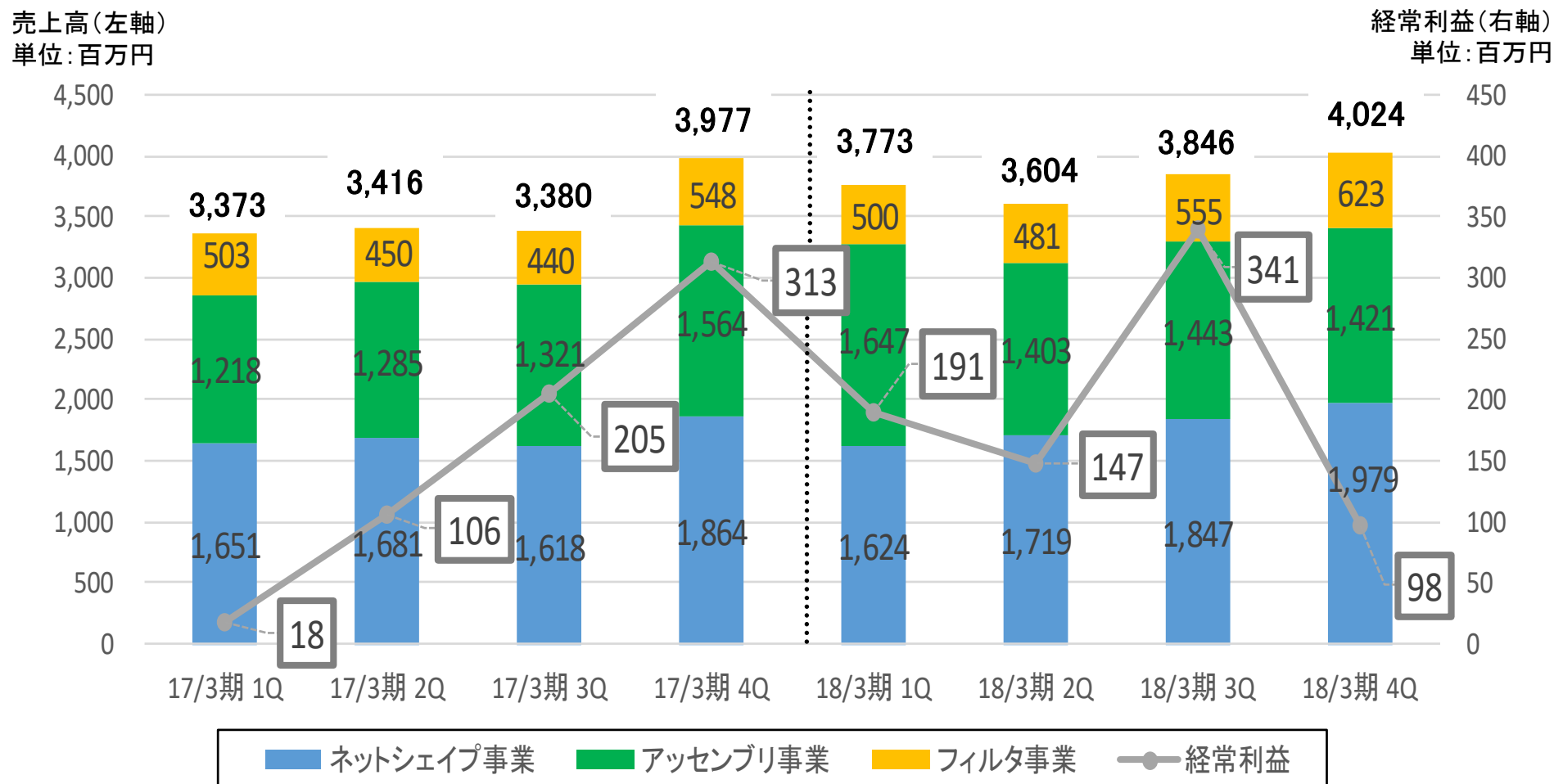
	17/3 実績 16/4-17/3	18/3 通期計画 17/4-18/3	18/3 実績 17/4-18/3	対前期 増減率
売上高	14,147	14,700	15,248	7.8%
売上総利益	2,693	2,865	2,947	9.4%
販売管理費	2,051	2,125	2,192	6.8%
営業利益	642	740	755	17.6%
営業外損益	△1	20	△23	—
経常利益	643	720	778	20.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	424	440	522	23.0%

為替レート

	17/3 実績	18/3 計画	18/3 実績
米ドル	110.45円	110円	112.39円
タイバーツ	3.12円	3.2円	3.31円

I .18/3期実績 — 四半期別業績推移 —

- 3Qにネットシェイプ事業の売上高が増加し、収益性が好転。
- 4Qは、四半期ベースで過去最高の40億円台の売上高となる。
- 4Qの経常利益は、たな卸評価損計上の影響あり。



※棒グラフ上方数値は、連結売上高

I .18/3期実績 — 事業別売上高の状況 —

単位:百万円

	17/3 実績 16/4-17/3	18/3 計画 17/4-18/3	18/3 実績 17/4-18/3	対前期 増減率
ネットシェイプ	6,816	6,900	7,171	5.2%
アッセンブリ	5,388	5,800	5,915	9.8%
フィルタ	1,942	2,000	2,161	11.3%
連結計	14,147	14,700	15,248	7.8%

▶金型部門:
国内における新規品が
増加。
 ▶精密鍛造品部門:
受託開発及び海外生産品
が好調に推移。

▶VGターボチャージャー
部品及びガソリンエンジン
車用ターボチャージャー
部品双方が増加。

▶医薬品産業向けが好調
に推移。

* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期実績 — ネットシェイプ事業概況—

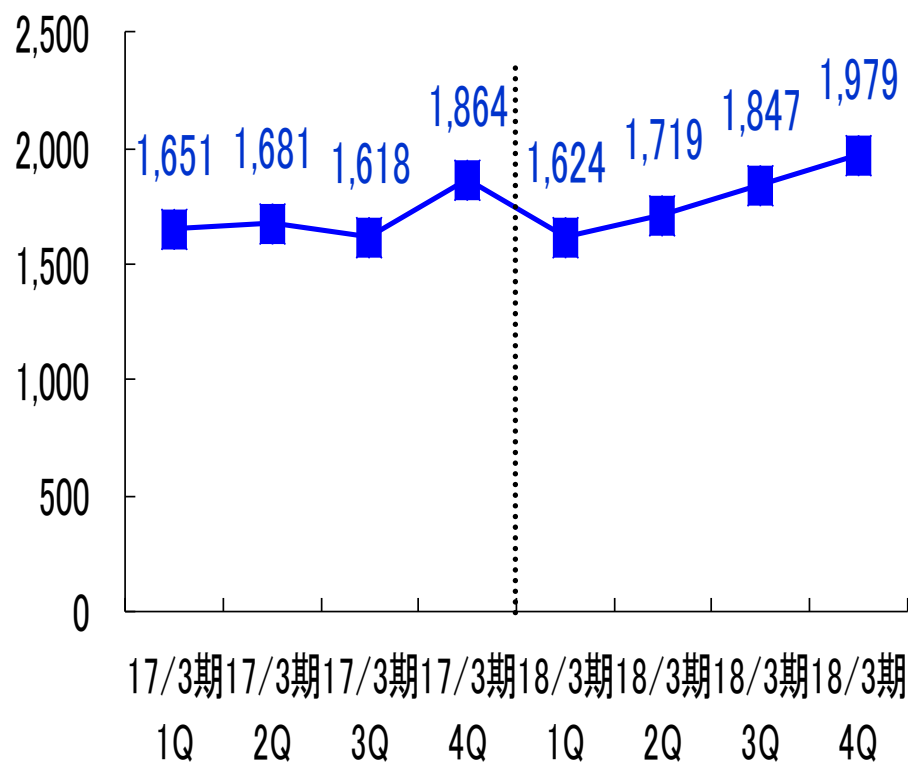
- **金型部門:** (国内)新規品が増加し、下半期から堅調に推移。
(海外)北米、アジア地域ともに減少。
- **精密鍛造品部門:** (国内生産)受託開発が好調に推移。
(海外生産)スクロール鍛造品が好調に推移。

ネットシェイプ事業売上高推移

国内外別売上高推移

単位:百万円

単位:百万円



	17/3 実績	18/3 実績	対前期 増減率
金型(国内)	4,185	4,400	5.1%
金型(海外)	1,363	1,318	△3.3%
金型計	5,549	5,719	3.1%
精鍛(国内)	599	686	14.4%
精鍛(海外)	667	765	14.7%
精鍛計	1,267	1,451	14.6%
ネットシェイプ計	6,816	7,171	5.2%

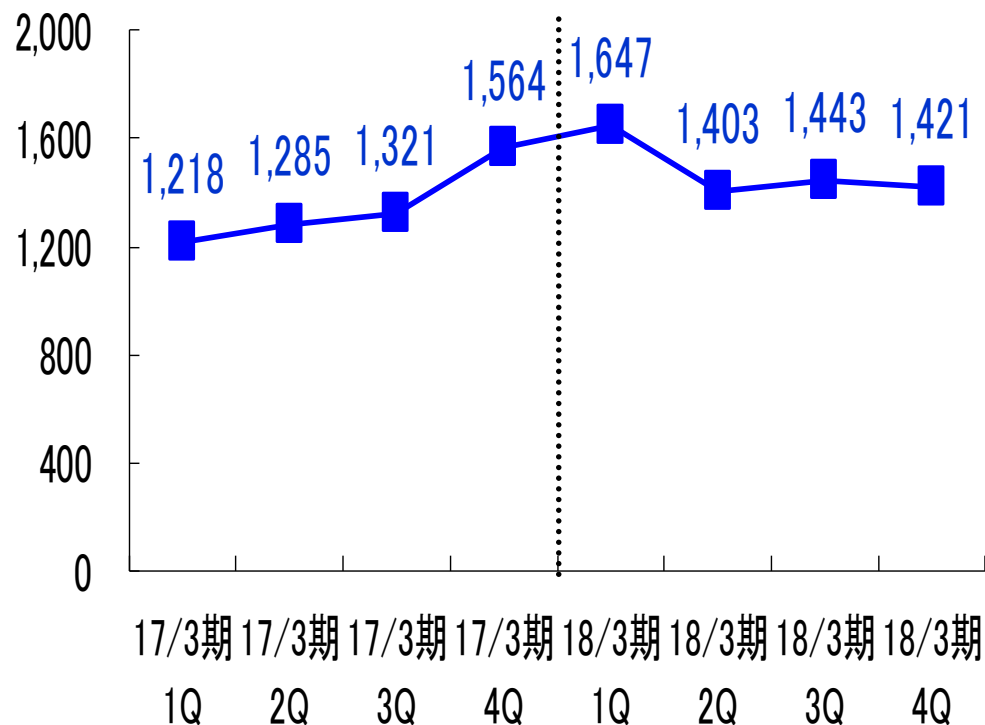
* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期実績 — アッセンブリ事業概況 —

▶ ガソリンエンジン車向け及びVGターボチャージャー部品双方の売上高が増加。

アッセンブリ事業売上高推移

単位: 百万円



国内外別売上高推移

単位: 百万円

	17/3 実績	18/3 実績	対前期 増減率
国内	2,316	2,666	15.1%
海外	3,072	3,249	5.7%
総合計	5,388	5,915	9.8%

* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期実績 — フィルタ事業概況 —

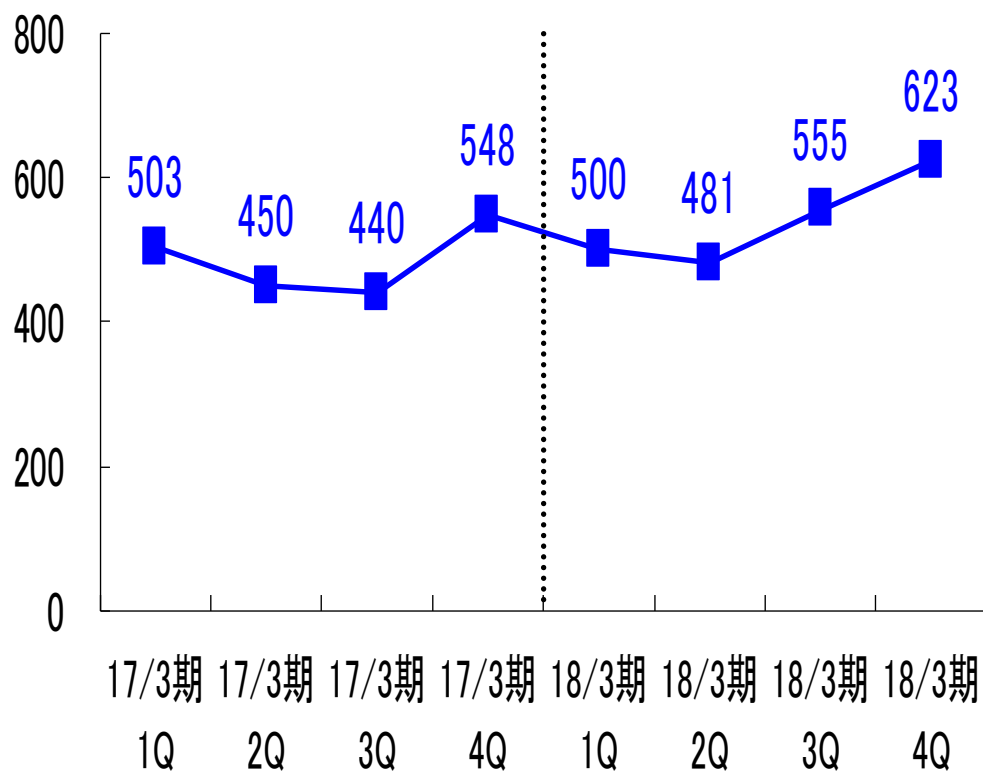
- 国内: 大型海水ストレーナーについては、予定どおりで推移。
- 海外: 医薬品産業向けフィルターが増加。THAI SINTERED MESH CO., LTD.も増収となる。

フィルタ事業売上高推移

国内外別売上高推移

単位: 百万円

単位: 百万円



	17/3 実績	18/3 実績	対前期 増減率
国内	1,522	1,585	4.1%
海外	420	576	37.1%
総合計	1,942	2,161	11.3%

* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期実績 – セグメント別P/L –

単位:百万円

	17/3 売上高	経常 利益	利益率	18/3 売上高	経常 利益	利益率
ネットシェイプ	6,816	322	4.7%	7,171	413	5.8%
アッセンブリ	5,388	94	1.8%	5,915	138	2.3%
フィルタ	1,942	227	11.7%	2,161	226	10.5%
連結計	14,147	643	4.6%	15,248	778	5.1%

▶ 金型、精密鍛造品
 双方の増収による。
 ▶ 精密鍛造品部門が
 好調に推移。

▶ 増収効果により
 増益となる。
 ▶ 第4四半期に、
 たな卸評価損を
 計上。

* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期実績 — 売上原価 —

単位: 百万円

	17/3 実績	比率	18/3 実績	比率
売上高	14,147	100.0%	15,248	100.0%
材料費	4,911	34.7%	5,588	36.6%
製品仕入	704	5.0%	825	5.4%
外注加工費	1,207	8.5%	1,417	9.3%
補助材料費	430	3.0%	459	3.0%
人件費	2,499	17.7%	2,566	16.8%
減価償却費	673	4.8%	730	4.8%
在庫増減	△333	△2.4%	△34	△0.2%
その他	694	4.9%	677	4.4%
売上原価	11,453	81.0%	12,301	80.7%
売上総利益	2,693	19.0%	2,947	19.3%

材料費

- 製品構成の変化により、材料費比率が上昇。

在庫増減

- 前年はアッセンブリ事業の在庫が減少。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	17/3 実績	比率	18/3 実績	比率
売上高	14,147	100.0%	15,248	100.0%
荷造・運賃	162	1.2%	169	1.1%
旅費交通費	114	0.8%	118	0.8%
人件費	1,046	7.4%	1,078	7.1%
減価償却費	119	0.8%	129	0.8%
賃借料	61	0.4%	62	0.4%
その他	546	3.9%	633	4.2%
販売・管理費	2,051	14.5%	2,192	14.4%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	17/3 実績	18/3 実績	増減
現金預金	2,586	2,774	188
受取手形	643	581	△62
売掛金	3,382	3,456	73
たな卸資産	2,021	2,084	63
その他	124	207	83
貸倒引当金	△1	△1	0
流動資産計	8,756	9,102	345
有形固定資産	6,889	6,725	△164
無形固定資産	131	139	8
投資その他の資産	183	184	0
固定資産計	7,204	7,048	△155
資産合計	15,961	16,151	190

* 百万円未満切り捨て。

I .18/3期実績 — B/S:負債・純資産の状況 —

単位:百万円

	17/3 実績	18/3 実績	増減
買掛金	1,573	1,586	12
短期借入金	1,378	1,527	148
未払法人税等	95	160	65
賞与引当金	148	149	0
その他	1,078	929	△149
流動負債計	4,274	4,353	78
長期借入金	830	497	△333
その他	278	71	△207
固定負債計	1,109	569	△540
負債計	5,384	4,922	△461
資本金	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	0
利益剰余金	6,925	7,285	359
非支配株主持分	936	1,055	118
その他	92	265	173
純資産計	10,577	11,228	651
負債・純資産合計	15,961	16,151	190

その他

➤ リース債務の
影響。

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	17/3	18/3	増減
営業活動によるCF	1,801	1,483	△318
投資活動によるCF	△581	△568	12
財務活動によるCF	△691	△798	△107
現金及び現金同等物増減額	513	187	△325
現金及び現金同等物の期首残高	1,964	2,478	513
現金及び現金同等物の期末残高	2,478	2,665	187
FCF	1,220	915	△304

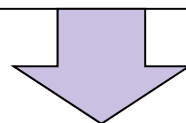
* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ.中期経営戦略について

Ⅱ. 中期経営戦略～振り返り(戦略ポイント及び制度)

'15/3期開始の中期経営戦略のポイント(2014年5月発表)

- ①海外展開への対応
- ②新規事業の立ち上げ～量産系事業の拡大
- ③QDC改善による製品競争力の強化
- ④自動車産業以外の領域拡大⇒フィルタ事業の成長



2015年3月期以降の3年間で成長のための基礎固めの時期と位置付け、基盤固めを進める。(2014年5月発表)

【主な基盤固めの動き(2015年3月期～)】

年度	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
施策内容	4月 ニチダイによるニチダイプレシジョン(国内アッセンブリ事業を担っていた子会社)の吸収合併 【目的】 ・塑性加工技術の融合化によるシナジー効果創出 ・ニチダイタイランドの支援強化	4月 京田辺工場再稼動 ・宇治田原工場で行っていたターボチャージャー部品の組立を京田辺工場に移転。 ・宇治田原工場のフィルタ事業の生産能力拡大 ガバナンス体制の強化 6月 監査等委員会設置会社への移行 7月 執行役員制度の導入	ニチダイ設立50周年 ・研究開発用プレスNFD1000導入	・新中期経営戦略を策定

Ⅱ. 中期経営戦略～振り返り(各事業の施策)

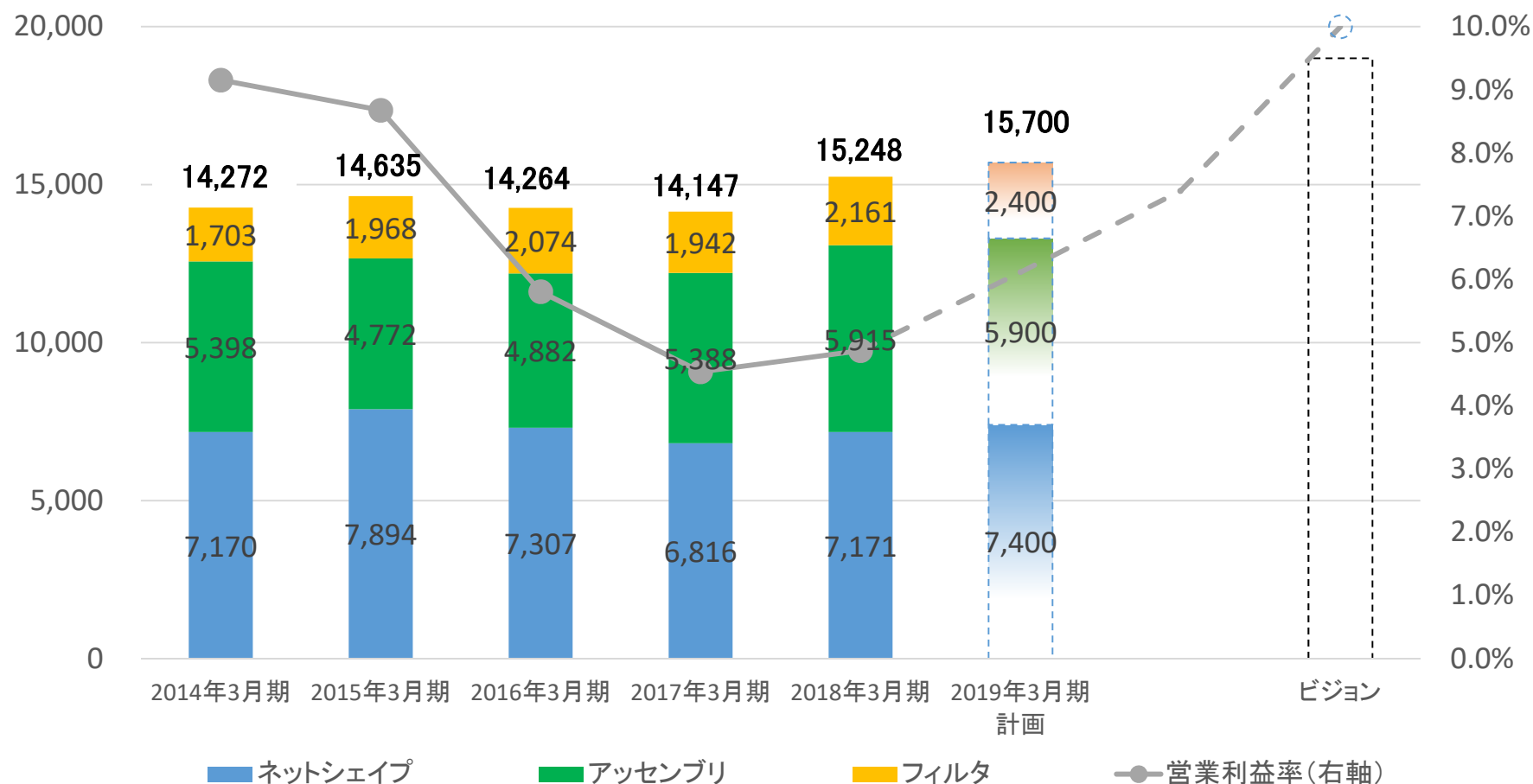
ポイント	2014～2017年の振り返り	課題
海外展開への対応	<p>金型:アジア地域を中心に売上高が増加するも、安定できず</p> <p>精密鍛造品:NDTで生産するスクロール鍛造品の立ち上げ</p> <p>アッセンブリ事業:NDTにおけるガソリンエンジン車用のターボチャージャー部品が増加</p> <p>フィルタ事業:医薬品産業向け製品の増加 TSMIにおける石油掘削用フィルターの減少</p>	<p>金型:アジア地域での安定需要の獲得</p> <p>精密鍛造品:NDTにおける精密鍛造品生産アイテム確保</p> <p>アッセンブリ事業:ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品への対応</p> <p>フィルタ事業:TSMIにおける新アイテムの生産体制確立</p>
新規事業の立ち上げ	<p>金型:板鍛造技術などの開発を進める</p> <p>精密鍛造品:新規量産部品の受注活動を推進</p> <p>アッセンブリ事業:国内外ともに、ガソリンエンジン車用のターボチャージャー部品が増加</p> <p>フィルタ事業:大型海水ストレーナーの増加 MM触媒フィルタの受注活動</p>	<p>金型:能動的な製品開発体制 コア技術のさらなる進化 電気自動車部品への対応 事業間シナジーの創出</p> <p>精密鍛造品:国内外における新規精密鍛造品アイテムの確保</p> <p>アッセンブリ事業:ガソリンエンジン車用ターボチャージャー部品への対応</p> <p>フィルタ事業:能動的に開発製品を獲得する体制</p>
QDC改善による製品競争力強化	<p>アッセンブリ事業: 構成部品内製化を推進 自動化ライン導入</p>	<p>事業間シナジーの創出</p> <p>IT技術の進化への対応</p> <p>時間生産性の向上</p>

Ⅱ. 中期経営戦略～振り返り(業績)

- 2015年3月期から、140億円台の連結売上高が続いた後、2018年3月期に初めて150億円を超える。
- 目指すべき指標の営業利益率10%達成については課題が残る。

単位:百万円

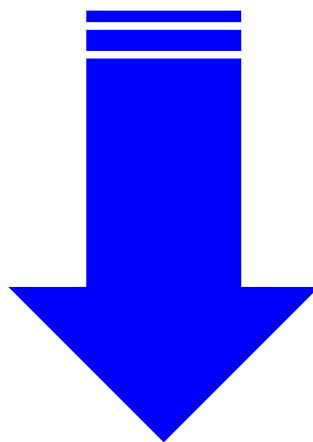
連結売上高及び営業利益率の推移



* 百万円未満切り捨て。

当社グループを取り巻く3つの環境変化

1. 自動車産業における電動化への移行の加速
2. ガソリンエンジン車のダウンサイジング化の加速
⇒欧州におけるディーゼルエンジン車の構成比の減少
3. 高齢化社会進展に伴う、働き方改革への対応強化



経営戦略再構築(2019年3月期～)

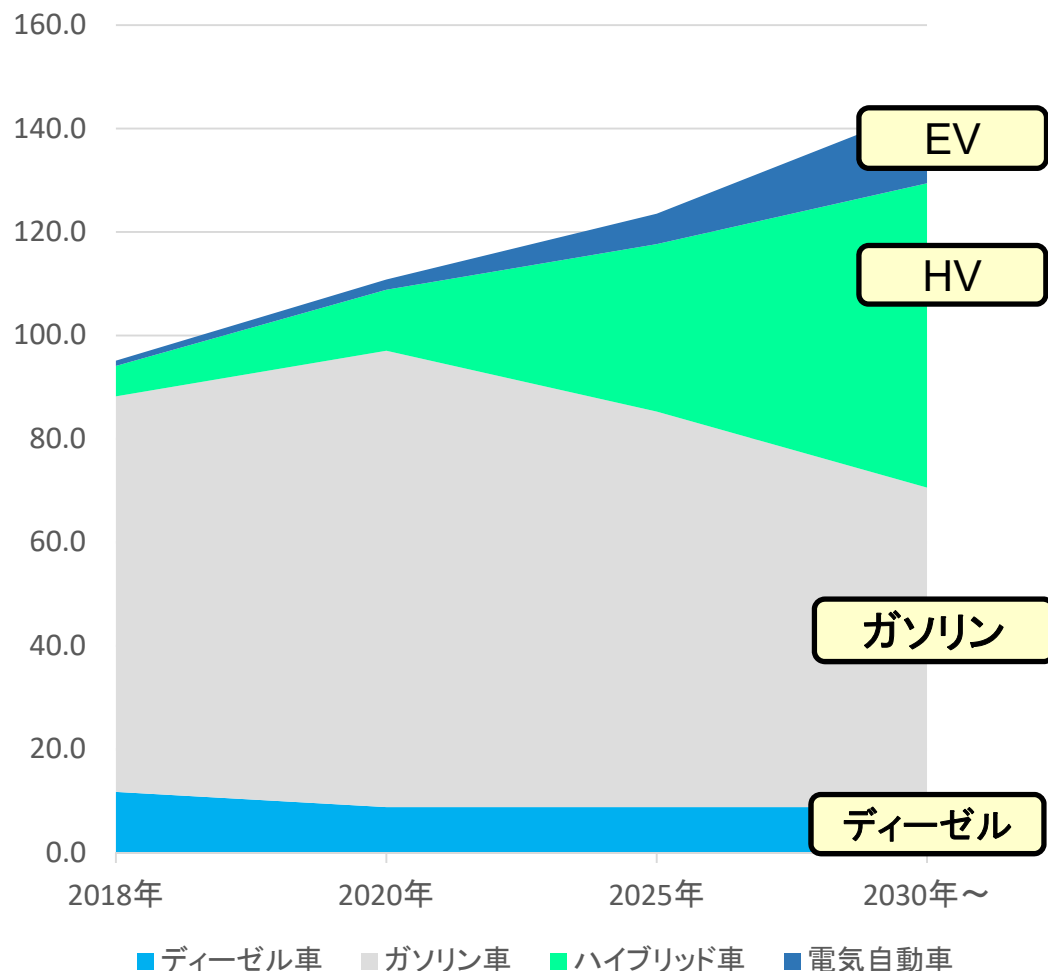
Ⅱ. 中期経営戦略～次世代自動車への対応

自動車産業の変革に際して、10年～15年は高止まりが予想される既存需要と次世代自動車に関わる新規需要への対応のかじ取りが必要。

単位:百万台

自動車市場の将来イメージ

変革時代における対応すべき課題



➤ 10年先の対応課題
次世代自動車に関わる部品
需要の増加
⇒従来の部品需要の減少へ
の対応

➤ ここ10年の対応課題
内燃機関の比率が高い状態
が続く。
⇒従来部品の需要増加への
対応

➤ 直近の課題
ディーゼルエンジンの減少
⇒代替需要への対応

Ⅱ.新中期戦略の挑戦、戦略、取組み

2019年3月期以降、下記の挑戦、戦略をもとに、中期経営戦略を推進。

基本戦略

挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

他社の追随を許さない技術力の構築

- ニッチトップへの取組み
- シナジーを活用した独自技術の進化と構築

さらなるQDCの改善

- 各種KPIの達成
- 原価低減の着実な取組

挑戦2 次世代への挑戦

海外事業のさらなる進化

- 海外比率拡大
- さらなる海外拠点の強化

新規事業の立ち上げ

- 次世代自動車への対応
- 社内シーズの活用

人事・制度戦略

挑戦3 働きがいのある職場への挑戦

自己実現を果たせる環境

- 挑戦を歓迎する仕組み
- 成長を描ける仕組み

働きやすさの充実

- 働き方改革
- コミュニケーション改革

Ⅲ.19/3期計画

Ⅲ.19/3期計画 — P/L:売上・利益 —

単位:百万円

	18/3 実績 17/4-18/3	19/3 計画 18/4-19/3	対前期 増減率
売上高	15,248	15,700	3.0%
売上総利益	2,947	3,140	6.5%
販売管理費	2,192	2,180	△0.5%
営業利益	755	960	27.1%
営業外損益	△23	10	—
経常利益	778	950	22.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	522	630	20.6%

* 百万円未満切り捨て

為替レート

	18/3 実績	19/3 計画
米ドル	112.39円	110円
タイバーツ	3.31円	3.4円

Ⅲ.19/3期計画 — 事業別売上高 —

単位：百万円

	18/3 通期実績 17/4-18/3	19/3 通期計画 18/4-19/3	対前期 増減率
ネットシェイプ	7,171	7,400	3.2%
アッセンブリ	5,915	5,900	△0.3%
フィルタ	2,161	2,400	11.1%
連結計	15,248	15,700	3.0%

金型部門：

- アジア地域向けの復調により、売上高増を目指す。

精密鍛造品部門：

- 前年と同水準の売上高で推移する見込み。

- VGターボチャージャー部品の生産機種が切り替えになる見込み。

- 医薬品産業が牽引し増収となる見込み。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	計画
設備投資額	1,605	1,290	1,313	774	966	434	1,130
減価償却費	602	764	879	970	793	860	880

* 百万円未満切り捨て。

IV. 配当について

IV. 配当について

	第2四半期	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
15年3月期	8.00	12.00	20.00
16年3月期	10.00	10.00	20.00
17年3月期	10.00	10.00	20.00
18年3月期(当初予想)	8.00	8.00	16.00
18年3月期(修正予想)	8.00(実績)	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
19年3月期(予想)	10.00	10.00	20.00

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp